

# ヴィクトリーラン

変額個人年金保険(年金原資保証型) *Victory Run*

特別勘定のしおり

特別勘定運用レポート  
2012年1月発行



ソニーライフ・エイゴン生命

## ■運用方針

特別勘定の運用にあたっては、生命保険会社の資産の運用に関する法令・諸規則を遵守するとともに、特別勘定資産の着実な成長および中長期的観点に立った収益の獲得を目指します。

## ■特別勘定の種類

各特別勘定は、下記の投資信託を主な投資対象として運用を行います。

特別勘定の種類	主な投資対象とする投資信託	運用会社	資産運用関係費用※ (投資信託の信託報酬)
国内株式型 (1A-1)	ブラックロック・インデックス・ファンド 国内株式Ⅰ (適格機関投資家専用)	ブラックロック・ジャパン 株式会社	年率0.1575% (税抜年率0.15%) 程度
海外株式型 (1A-2)	インバスコ MSCⅠコクサイ・インデック ス・ファンドⅠ-3 (適格機関投資家専用)	インバスコ投信投資顧問株 式会社	年率0.252% (税抜年率0.24%) 程度
国内債券型 (1A-3)	ステート・ストリート日本債券インデック ス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート・グ ローバル・アドバイザーズ 株式会社	年率0.1995% (税抜年率0.19%) 程度
海外債券型 (1A-4)	ブラックロック・インデックス・ファンド 外国債券Ⅰ (適格機関投資家専用)	ブラックロック・ジャパン 株式会社	年率0.1365% (税抜年率0.13%) 程度

※ 資産運用関係費用は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。  
このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映することになります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

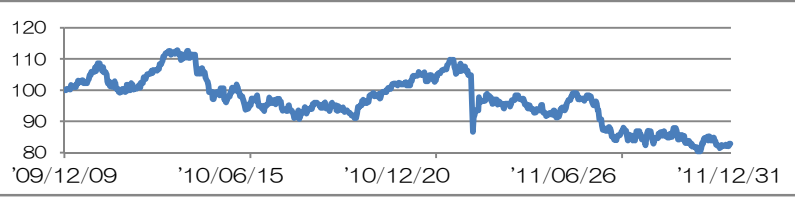
## ■主な投資対象とする投資信託の投資方針

ブラックロック・インデックス・ファンド 国内株式Ⅰ (適格機関投資家専用)	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目標として、運用を行うことを基本とします。ブラックロック・インデックス・マザー・ファンド国内株式の受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
インバスコ MSCⅠコクサイ・インデック ス・ファンドⅠ-3 (適格機関投資家専用)	投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とし、MSCⅠコクサイ・インデックス・マザーファンドを主要な投資対象とします。
ステート・ストリート日本債券インデック ス・ファンドVA1 <適格機関投資家限定>	ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンドに投資することにより、中長期的にわが国の債券市場（NOMURA-BPI総合指数）の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用する事を基本とします。
ブラックロック・インデックス・ファンド 外国債券Ⅰ (適格機関投資家専用)	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目標として、運用を行うことを基本とします。ブラックロック外債インデックス・マザー・ファンドの受益証券を主要投資対象とします。なお、有価証券等へ直接投資する場合があります。

■当資料は、ソニーライフ・エイゴン生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託の運用状況に関する開示情報は、当該投資信託の運用会社からの運用報告をソニーライフ・エイゴン生命が提供するものです。

【特別勘定名】 国内株式型（1A-1）

■ユニットプライス推移グラフ



■ユニットプライス・騰落率推移

ユニットプライス	2011年12月末	騰落率 (%)	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	設定来
	82.88		0.00%	-4.57%	-13.91%	-18.37%	-17.11%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格} × 100」と計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しています。

■設定日

2009年12月9日

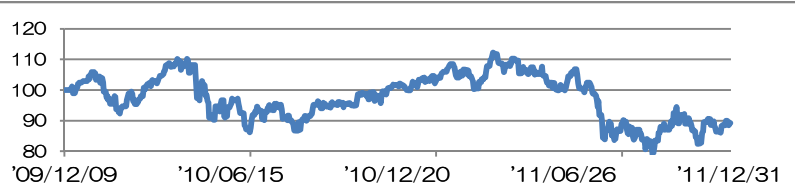
■資産状況

	残高 (百万円)	構成比 (%)
投資信託	224	99.01%
現預金等	2	0.99%
合計	226	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】 海外株式型（1A-2）

■ユニットプライス推移グラフ



■ユニットプライス・騰落率推移

ユニットプライス	2011年12月末	騰落率 (%)	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	設定来
	89.26		3.26%	7.10%	-13.54%	-10.70%	-10.73%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格} × 100」と計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しています。

■設定日

2009年12月9日

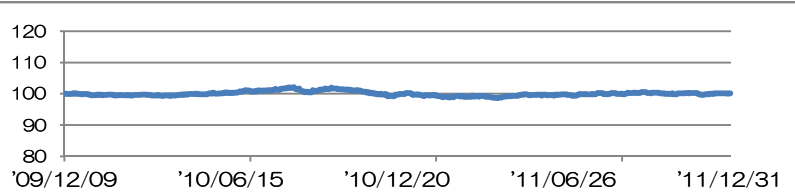
■資産状況

	残高 (百万円)	構成比 (%)
投資信託	226	98.89%
現預金等	2	1.11%
合計	229	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】 国内債券型（1A-3）

■ユニットプライス推移グラフ



■ユニットプライス・騰落率推移

ユニットプライス	2011年12月末	騰落率 (%)	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	設定来
	100.10		0.45%	-0.10%	0.43%	-0.17%	0.10%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格} × 100」と計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しています。

■設定日

2009年12月9日

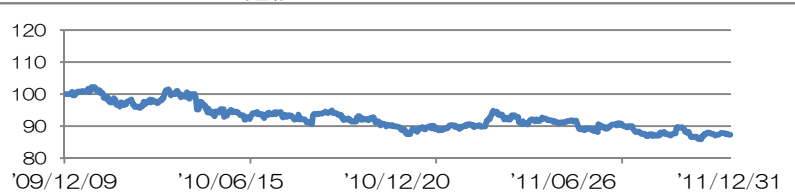
■資産状況

	残高 (百万円)	構成比 (%)
投資信託	615	99.01%
現預金等	6	0.99%
合計	621	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】 海外債券型（1A-4）

■ユニットプライス推移グラフ



■ユニットプライス・騰落率推移

ユニットプライス	2011年12月末	騰落率 (%)	1カ月前	3カ月前	6カ月前	1年前	設定来
	87.35		0.37%	-0.08%	-4.54%	-0.22%	-12.64%

※騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率= { (終了日の価格-開始日の価格) ÷ 開始日の価格} × 100」と計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しています。

■設定日

2009年12月9日

■資産状況

	残高 (百万円)	構成比 (%)
投資信託	613	99.09%
現預金等	5	0.91%
合計	619	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

■当資料は、ソニーライフ・エイゴン生命の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託の運用状況に関する開示情報は、当該投資信託の運用会社からの運用報告をソニーライフ・エイゴン生命が提供するものです。

## 【特別勘定名】

国内株式型（1A-1）

## 【特別勘定が投資する投資信託】

ブラックロック・インデックス・ファンド国内株式 I

## 【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

## ■基準価額の推移



## ■基準価額

6,037 円

## ■ファンド概要

設定日	2008/2/7
純資産総額	46.7億円

## ■ベンチマーク

東証株価指数（TOPIX）

## ■運用方針

・主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、TOPIX（東証株価指数、配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行います。

・「ブラックロック・インデックス・マザー・ファンド国内株式」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。

・マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持する事を基本とします。

\* 基準価額は信託報酬控除後の値です。

\* 基準価額およびベンチマークはファンド設定日前日を10,000として指数化しております。

\* 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

\* TOPIX(東証株価指数)は、東京証券取引所第一部の国内普通株全銘柄の時価総額を基準時(昭和43年1月4日)の時価総額で除して算出した指数で、株式会社東京証券取引所(以下、(株)東京証券取引所)により算出、公表されます。

\* TOPIXの商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は(株)東京証券取引所に帰属します。(株)東京証券取引所はTOPIXの内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。(株)東京証券取引所はTOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

## ■騰落率(%)

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	0.17%	-4.19%	-13.29%	-17.12%	-39.63%
ベンチマーク	0.13%	-4.17%	-13.22%	-17.00%	-39.14%
差	0.04%	-0.02%	-0.07%	-0.12%	-0.49%

## ■組入状況

## 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.32%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.46%
3	キヤノン	電気機器	2.13%
4	本田技研工業	輸送用機器	2.00%
5	日本電信電話	情報・通信業	1.80%
6	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.61%
7	武田薬品工業	医薬品	1.34%
8	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.33%
9	ファナック	電気機器	1.24%
10	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.16%

## 組入上位10業種

	業種	比率
1	電気機器	13.76%
2	輸送用機器	9.53%
3	銀行業	9.32%
4	情報・通信業	6.78%
5	化学	6.10%
6	卸売業	5.53%
7	医薬品	5.18%
8	機械	5.04%
9	小売業	4.39%
10	陸運業	4.25%

## ■運用会社のコメント

12月の国内株式市場はTOPIX（配当込み）で前月末比0.13%となりました。前月の主要6中央銀行によるドルスワップ協定を好感して株式市場は上昇して始まりました。その後、無難に終わったフランスなどでの国債入札や、米国ISM製造業景況指数など予想を上回る米国経済統計を受けて市場は堅調に推移しました。9日のEU首脳会議では財政規律強化に関する合意がなされ、市場に安心感が広がりました。しかし、その後に大手格付会社がユーロ圏主要国の国債格付けを引き下げる方向で見直すことと発表し、これが欧州債務問題の解決の難しさを市場に再認識させ、対主要通貨でユーロが一層売られると同時に株式市場も反落しました。日本では対ユーロで円高が進展していることや、日銀短観で予想よりも弱い指標が発表されたことなどが悪材料となり、月間騰落率はほぼ横ばいで終わりました。セクター別では、海運業や医薬品が上昇した一方で、空運業、不動産業、保険業などが下落しました。

・本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、ブラックロック・ジャパン株式会社(以下、「弊社」という。)が当ファンドの運用状況を受益者の皆様へ情報提供する目的で作成したもので、その取得を勧誘するものではなく、また、本資料記載の個別有価証券の売買等の行為を勧誘するものではありません。

・本資料は、弊社が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に掲載された弊社及びブラックロック・グループ(以下、「ブラックロック」という。)の意見、見解は、本資料作成日時におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載された過去の実績及び今後の予測は、なんら将来の成果を保証または示唆するものではありません。

・本資料の使用権は、弊社またはブラックロックに帰属し、全部または一部分であっても、無断でこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

・本ファンドおよびマザーファンドの基準価額は組入れた株式やその他の有価証券等の値動き等により変動します。委託会社の指図による行為によりファンドに生じた損益はすべて投資者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

・本投資信託は、私募投資信託です。一般投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。

【特別勘定名】

海外株式型 (1A-2)

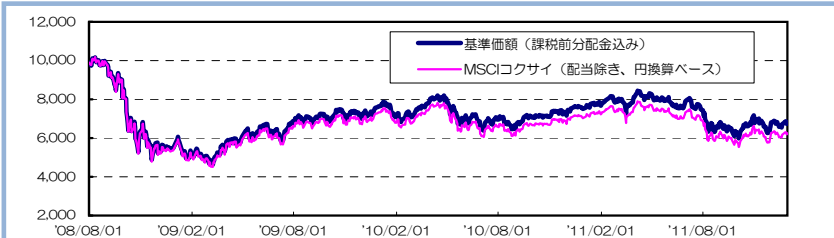
【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンドI-3

【運用会社】

インベスコ投信投資顧問株式会社

■基準価額の推移



\*過去の運用実績は将来の運用成果を保証するものではありません。\*基準価額は税引前分配金再投資の基準価額です。基準価額は信託報酬控除後です。\*ベンチマークは、簡便法（基準日前日のドル連指数を基準日のドル円TTMレートで評価する方法）で算出した後、ファンドの設定日のベンチマークと基準価額を同値として指数化しています。

■基準価額

6,801円

■ファンド概要

設定日	2008/8/1
純資産総額	227(百万円)

■ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス

■運用方針

マザーファンドへの投資を通じて世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。グローバルな収益機会を最大限に追求するため、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックスに連動した投資成果を目指します。

■騰落率 (%)

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定月来
ファンド	3.48%	7.71%	-12.81%	-9.30%	-31.90%
ベンチマーク	3.38%	7.20%	-13.60%	-11.26%	-37.30%
差	0.11%	0.51%	0.79%	1.96%	5.40%

\*ファンドの騰落率は、税引前分配金再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。  
\*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準（基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMレートで評価する方法）で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。  
\*設定来騰落率は、設定日の月末を基点として算出しています。

■組入状況

組入上位10銘柄

順位	銘柄	業種	比率
1	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	1.98%
2	APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.79%
3	IBM	ソフトウェア・サービス	1.06%
4	CHEVRON	エネルギー	1.03%
5	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	0.94%
6	GENERAL ELECTRIC CO.	資本財	0.91%
7	NESTLE SA	食品・飲料・タバコ	0.90%
8	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	0.88%
9	JOHNSON&JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.86%
10	AT & T INC	電気通信サービス	0.85%

\*組入上位10銘柄の業種分類はMSCI世界産業分類基準の24産業グループに基づいています。  
\*組入上位5業種構成の業種分類はMSCI世界産業分類基準の10セクターに基づいています。  
\*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

組入上位5カ国構成

1	アメリカ	56.71%
2	イギリス	10.43%
3	カナダ	5.48%
4	フランス	4.05%
5	オーストラリア	3.88%

組入上位5業種構成

1	金融	17.22%
2	エネルギー	12.43%
3	情報技術	11.70%
4	生活必需品	11.21%
5	ヘルスケア	10.67%

■運用会社のコメント

① 米国

12月末のNYダウ工業株30種平均指数は12,217.56（前月末比+1.4%）、S&P500種指数は1,257.60（前月末比+0.9%）、ナスダック総合指数は2,605.15（前月末比▲0.6%）となりました。

12月の米国株式市場は、中旬に一時下落する局面がありましたが、下旬に値を戻しました。8日にドラギ欧州中央銀行（ECB）総裁がユーロ圏国債の追加購入に否定的見解を示したことを受けて下落しましたが、その翌日には欧州連合（EU）首脳会議で債務危機に対応した救済基金の拡充策が打ち出されたことや、英国以外の主要国がユーロ圏の財務規律強化で合意したことから反発しました。中旬には一部格付け機関がユーロ圏債務の格付けを見直すとのニュースや、商品価格が軟調に推移したことから下落しましたが、20日に予想を上回る米住宅着工件数や好調なスペイン国債入札などを受けて反発し、その後も給与税減税の延長や堅調なマクロ指標から値を戻して年末を迎えました。

② 欧州

12月末の英国FT100指数は5,572.28（前月末比+1.2%）、ドイツDAX指数は5,898.35（前月末比▲3.1%）、フランスCAC40指数は3,159.81（前月末比+0.2%）となりました。

12月の欧州主要株式市場は、一部の国で上昇したものの、全体としては軟調に推移しました。月初は、前月下旬からの上昇基調を引き継ぎ株価は堅調に推移しましたが、しかしその後、金融不安緩和のための政策が示されるとみられていたEU首脳会議やECB政策理事会において、市場の期待に沿うような具体策が発表されなかったことで、株価は反落しました。下旬になると、欧州域内のマクロ指標が事前予想に反して改善したことや、米国の景気指標に改善の兆候がみられたことなどから株価はやや値を戻したものの、依然としてユーロ圏諸国の信用不安を背景に上値も重く、概ね前月末と同水準で月末となりました。

③ アジア

12月末の香港ハンセン指数は18,434.39（前月末比+2.5%）、シンガポールST指数は2,646.35（前月末比▲2.1%）、オーストラリア全普通株指数は4,111.04（前月末比▲1.8%）となりました。

12月のアジア主要株式市場は、月初めは日米欧主要6カ国の中央銀行による米ドル資金供給に関する協調行動を好感して欧米主要市場と連動する形で上昇しましたが、その後は欧州債務問題への対応策が物足りないと感じられ軟調な展開となりました。北朝鮮の金正日総書記の死去に伴う地政学リスクに対する懸念なども売り要因となりました。下旬には米国のマクロ指標が堅調であったことなどを受けて若干上昇しました。香港市場では、中国が11月末に預金準備率を引き下げて金融緩和方向に転じたことなどが好感されました。オーストラリア市場では、先月に引き続きエネルギー、素材関連株が大きく下落しました。

※本書は「インベスコ MSCIコクサイ・インデックス・ファンドI-3」の受益者の皆さまに対して、当該ファンドに関する運用状況の開示を目的とした情報提供をするために、インベスコ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。本書の著作権、その他一切の権利は、インベスコ投信投資顧問株式会社に帰属しており、いかなる目的であれ電子的・機械的手段を問わず、事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。

本書は信頼できる公開情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本文中に詳述した本書の分析は、一定の仮定に基づいたものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。投資信託は、株式など変動式のある証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益は全て投資家の皆さまに帰属します。なお、本書は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。

## 【特別勘定名】

国内債券型（1A-3）

## 【特別勘定が投資する投資信託】

ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA1〈適格機関投資家限定〉

## 【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ■基準価額の推移



## ■基準価額

10,789円

\*基準価額は信託報酬控除後です。

## ■ファンド概要

設定日	2008/8/1
純資産総額	6.15億円

## ■ベンチマーク

NOMURA-BPI総合指数

## ■運用方針

・Nomura-BPI 総合指数に連動する投資成果を目指します。  
・わが国の（円建て）公社債等を主要投資対象とする、「ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド」受益証券を主な投資対象とします。  
・マザーファンドの債券実質組入れ比率は原則として高位を保ちます。

## ■騰落率（％）

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	0.61%	0.34%	1.34%	1.61%	7.89%
ベンチマーク	0.63%	0.42%	1.48%	1.87%	9.01%
差	-0.02%	-0.08%	-0.13%	-0.26%	-1.12%

\*ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。信託報酬控除後のリターンです。  
\*設定来とは、設定日を起点として計算した騰落率です。

## ■組入状況

## 組入上位10銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	第273回利付国債（10年）	1.50%	2015/9/20	1.19%
2	第264回利付国債（10年）	1.50%	2014/9/20	1.18%
3	第305回利付国債（10年）	1.30%	2019/12/20	1.07%
4	第267回利付国債（10年）	1.30%	2014/12/20	1.06%
5	第304回利付国債（10年）	1.30%	2019/9/20	1.02%
6	第311回利付国債（10年）	0.80%	2020/9/20	0.97%
7	第83回利付国債（5年）	0.90%	2014/6/20	0.93%
8	第71回利付国債（5年）	1.30%	2013/3/20	0.93%
9	第310回利付国債（10年）	1.00%	2020/9/20	0.92%
10	第288回利付国債（10年）	1.70%	2017/9/20	0.92%

\*「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

## 債券種別資産構成比率

債券種別	比率
国債	76.4%
地方債	7.1%
政府保証債	4.3%
金融債	1.4%
事業債	9.6%
円建外債	0.3%
MBS債	1.0%
コール・その他	0.0%
合計	100.0%

\*資産担保証券（ABS）は事業債に含まれています。

## 格付け

格付け	比率
AAA	1.4%
AA	95.3%
A	2.9%
BBB	0.4%
BB以下	0.0%
利回り・残存年限	
平均複利利回り	0.75%
平均クーポン	1.53%
平均残存期間	8.06
修正デュレーション	7.07

## ■運用会社のコメント

12月の日本債券市場は、経済指標が軟調であったことに加えて、欧州債務危機への懸念の高まりを受けて日本国債は買われました。日本10年国債利回りは前月末から0.08%低下の0.99%となりました。

・当ファンドは値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元金が保証されているものではありません。  
・本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。また、将来予告なしに変更する場合がございます。  
・過去の実績に関する数値・データ等は将来の結果をお約束するものではありません。また、市場概況等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

## 【特別勘定名】

海外債券型（1A-4）

## 【特別勘定が投資する投資信託】

ブラックロック・インデックス・ファンド外国債券 I

## 【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

## ■基準価額の推移



## ■基準価額

7,798 円

## ■ファンド概要

設定日	2008/8/1
純資産総額	223.1億円

## ■ベンチマーク

シティグループ世界国債インデックス  
(除く日本、円ベース)

## ■運用方針

・主として世界の主要国の国債に投資を行い、中長期的に信託財産の安定した成長と収益の確保を目標に、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)に連動する投資成果を目指して運用を行います(以下、インデックス運用といたします)。

・「ブラックロック・外債インデックス・マザー・ファンド」受益証券を主要投資対象とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。

・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## ■騰落率(%)

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	0.53%	0.36%	-3.74%	1.52%	-22.02%
ベンチマーク	-0.37%	-0.68%	-4.51%	0.25%	-22.48%
参考指標	0.58%	0.43%	-3.64%	1.62%	-21.44%

- \* 基準価額は信託報酬控除後の値です。
- \* 基準価額、ベンチマーク、および参考指標はファンド設定日前日を10,000円として指数化しております。
- \* 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出してあります。
- \* ベンチマークはシティグループ世界国債インデックス(国内投信用 除く日本、円ベース)です。ベンチマークの為替レートはWM Company/ Reuters Closing Spot Ratesを使用しており、本ファンドにおける外貨建て資産の円貨換算の為替レートとは異なります。
- \* 参考指標はシティグループ世界国債インデックス(国内投信用 除く日本、円ベース)です。基準価額算出基準を考慮し、営業日前日の各外貨建て資産を営業日当日の各通貨TTMレート(対顧客電信売相場仲値)で評価した値を用いて算出しています。
- \* シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)およびシティグループ世界国債インデックス(国内投信用 除く日本、円ベース)は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した、債券インデックスです。
- \* シティグループの商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。シティグループ・グローバル・マーケット・インクはインデックスの内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。シティグループ・グローバル・マーケット・インクはインデックス指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

## ■組入状況

## 国別組み入れ比率

銘柄	比率
1 アメリカ	41.5%
2 フランス	9.6%
3 ドイツ	9.4%
4 イギリス	8.7%
5 イタリア	8.5%
6 その他	22.3%

## 通貨別組み入れ比率

通貨	比率
アメリカドル	41.5%
ユーロ	40.6%
イギリスポンド	8.7%
カナダドル	3.0%
オーストラリアドル	1.5%
その他	4.7%

## 組入資産券種別構成

資産	比率
国債	100.0%
政府機関債	0.0%
モーゲージ債	0.0%
社債	0.0%
その他	0.0%
現金等	0.0%

## 組入資産格付別構成

格付	比率
AAA	81.3%
AA	6.9%
A	10.6%
BBB	1.2%
BBB未満	0.0%
利回り・残存年限	
平均複利利回り	2.18%
平均クーポン	3.93%
平均残存期間	8.56
修正デュレーション	6.29

\* 国別組み入れ比率、通貨別組み入れ比率、組入資産券種別構成、組入資産格付別構成はマザーファンドの組入債券の合計を100%とした割合です。

\* 組入資産格付別構成は、マザーファンドの組入債券に対するムーディーズ、S&Pの格付のうち、高い方の格付を採用して算出しております。

\* 利回り・残存年限はマザーファンドの数値です。

## ■運用会社のコメント

米国国債市場では、米国の企業景況感や雇用が緩やかながら回復し始めているものの、欧州周辺国の債務問題が引き続き懸念され、「質への逃避」から米10年国債利回りは低下しました。その結果、12月末の米10年国債利回りは1.88%（前月末比0.19%低下）、同2年債は0.24%（前月末比0.01%低下）となりました。ドイツ国債市場では、欧州周辺国の債務問題としてユーロ圏諸国の財政規律強化策が検討されているものの債券市場では欧州周辺国の財政懸念が強く残っており、「質への逃避」から金利は長期ゾーンを中心に低下しました。その結果、12月末の独10年国債利回りは1.83%（前月末比0.45%低下）、同2年債は0.14%（前月末比0.20%低下）となりました。

・本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、ブラックロック・ジャパン株式会社(以下、「弊社」という。)が当ファンドの運用状況を受益者の皆様へ情報提供する目的で作成したもので、その取得を勧誘するものではなく、また、本資料記載の個別有価証券の売買等の行為を勧誘するものではありません。

・本資料は、弊社が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に掲載された弊社及びブラックロック・グループ(以下、「ブラックロック」という。)の意見、見解は、本資料作成日時点におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載された過去の実績及び今後の予測は、なんら将来の成果を保証または示唆するものではありません。

・本資料の使用権は、弊社またはブラックロックに帰属し、全部または一部分であっても、無断でこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

・本ファンドおよびマザーファンドの基準価額は組入れた株式やその他の有価証券等の値動き等により変動します。委託会社の指図による行為によりファンドに生じた損益はすべて投資者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

・本投資信託は、私募投資信託です。一般投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。

■ 投資リスクについて

当商品は、投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資され運用実績に基づき、積立金額、将来の年金額、死亡給付金額および解約返戻金等が変動します。資産運用の成果はご契約者に帰属しますが、一方で株価や債券価格の下落・為替の変動等による投資リスク（価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等）を負うこととなりますので、積立金額、将来の年金額、解約返戻金額等が一時払保険料を下回る可能性があります。よって、資産運用の成果とリスクがともにご契約者および受取人に帰属することとなります。

■ 諸費用について

当商品にかかる諸費用は下記のとおりです。なお、下記内容は将来変更される可能性があります。

ご契約時にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料に対して5.0%	特別勘定への繰入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

据置期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要な費用、年金原資および死亡給付金を最低保証するための費用です。	据置期間10年型	
		保険関係費用（積立金比例） 積立金額に対して年率1.75%	積立金額に対して左記の年率の1/365日を乗じた額を毎日の積立金から差し引きます。
		保険関係費用（基本給付金額比例） 基本給付金額に対して年率1.20%	基本給付金額に対して左記の年率の1/12か月を乗じた額を契約日の月単位の応当日の前日の積立金から差し引きます。
		据置期間15年型	
		保険関係費用（積立金比例） 積立金額に対して年率1.75%	積立金額に対して左記の年率の1/365日を乗じた額を毎日の積立金から差し引きます。
		保険関係費用（基本給付金額比例） 基本給付金額に対して年率1.00%	基本給付金額に対して左記の年率の1/12か月を乗じた額を契約日の月単位の応当日の前日の積立金から差し引きます。
資産運用関係費用※ （投資信託の信託報酬）	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定で主に利用する投資信託の信託報酬等が含まれます。	各特別勘定において主に利用する投資信託により異なりますので、詳細は、P1「特別勘定の種類」をご参照ください。	各特別勘定において主に利用する投資信託の純資産総額に、特別勘定ごとに設定された資産運用関係費用の年率を日割りして毎日差し引きます。

※ 資産運用関係費用は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映することとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

年金支払期間中にご負担いただく費用（一時払定額年金への移行による年金支払を行う場合を含む）

項目	費用	時期
年金管理費用※	支払年金額に対して1.0%	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

遺族年金支払特約による年金支払期間中にご負担いただく費用

項目	費用	時期
年金管理費用※	支払年金額に対して1.0%	遺族年金支払特約の年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

※ 年金管理費用は将来変更されることがあります。

■ その他のご留意事項

- \* 変額個人年金保険（年金原資保証型）「ヴィクトリーラン」は、ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- \* このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。

<募集代理店>

引受保険会社

**ソニーライフ・エイゴン生命保険株式会社**

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-52-2

青山オーバルビル

ホームページ <http://www.aegonsonylife.co.jp>

お客様サービスセンター ☎ **0120-966-066**

《受付時間》月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）  
午前9時～午後5時30分